

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

月次運用レポート(販売用資料)

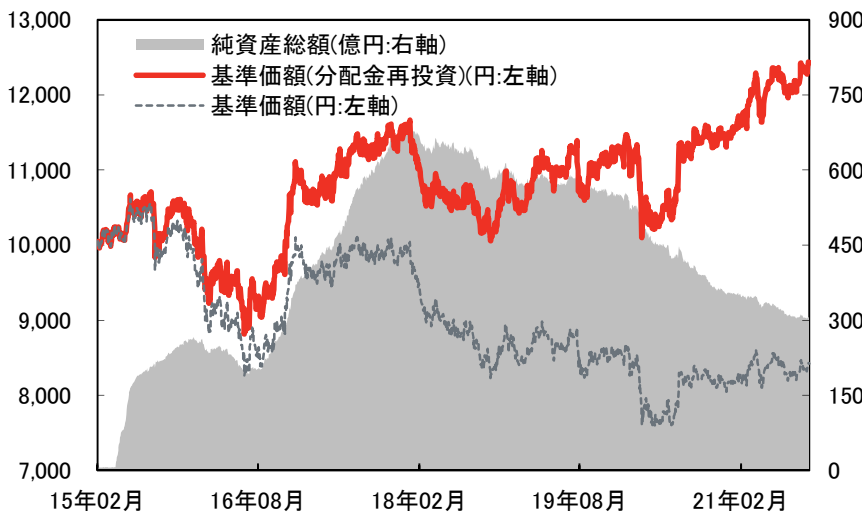
作成基準日: 2021年9月30日

設定日: 2015年2月10日

決算日: 毎月10日(休業日の場合は翌営業日)

信託期間: 2015年2月10日～2025年1月10日

基準価額・純資産総額の推移/ファンドの運用状況



※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。
 ※基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。
 ※ファンドの期間別騰落率は、基準価額(分配金再投資)をもとに計算しています。
 ※為替レートの期間別騰落率は、一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成(参考データ)。
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

2021年9月30日現在

基準価額: 8,424 円
 前月末比: +23 円
 純資産総額: 305.5 億円
 前月末比: -3.9 億円

期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	0.8%
3ヵ月	2.0%
6ヵ月	1.8%
1年	8.8%
3年	19.6%
設定来	24.3%

<ご参考> 為替騰落率

	ルピー(対円)
1ヵ月	0.0%
3ヵ月	0.7%
6ヵ月	-0.7%
1年	4.1%
3年	-4.4%
ファンド 設定来	-21.4%

分配の推移(1万口当たり、税引前) 直近12期分

決算期	第67期 2020/10/12	第68期 2020/11/10	第69期 2020/12/10	第70期 2021/1/12	第71期 2021/2/10	第72期 2021/3/10	第73期 2021/4/12
分配金	45 円	45 円	45 円	45 円	45 円	45 円	45 円
決算期	第74期 2021/5/10	第75期 2021/6/10	第76期 2021/7/12	第77期 2021/8/10	第78期 2021/9/10	設定来累計	
分配金	45 円	45 円	45 円	45 円	45 円	3,465 円	

※分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

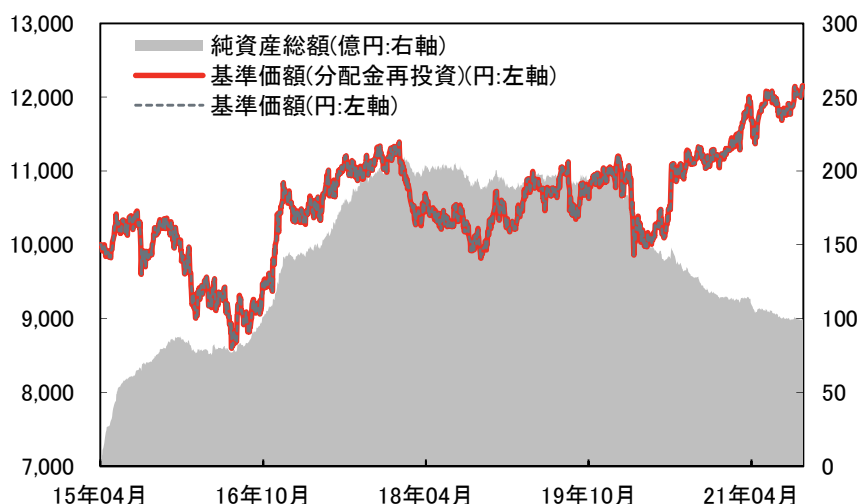
(注) 当資料では、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)」および「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)」をそれぞれ「毎月決算型」「年2回決算型」ということがあります。また総称して、あるいは個別に「当ファンド」ということがあります。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

設定日: 2015年4月10日
 決算日: 毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日)
 信託期間: 2015年4月10日～2025年1月10日

基準価額・純資産総額の推移/ファンドの運用状況



2021年9月30日現在

基準価額: 12,147 円
 前月末比: +100 円
 純資産総額: 99.5 億円
 前月末比: -1.1 億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.8%
3ヵ月	2.0%
6ヵ月	1.8%
1年	8.8%
3年	19.8%
設定来	21.5%

<ご参考> 為替騰落率

期間	ルピー(対円)
1ヵ月	0.0%
3ヵ月	0.7%
6ヵ月	-0.7%
1年	4.1%
3年	-4.4%
ファンド設定来	-22.6%

※基準価額は、ファンド設定日の前営業日を10,000として表示しています。
 ※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。
 ※基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものとして計算しています。
 ※ファンドの期間別騰落率は、基準価額(分配金再投資)をもとに計算しています。
 ※為替レートの期間別騰落率は、一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成(参考データ)。
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

分配の推移(1万口当たり、税引前) 直近12期分

決算期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
	2016/1/12	2016/7/11	2017/1/10	2017/7/10	2018/1/10	2018/7/10	2019/1/10
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
決算期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	設定来累計	
	2019/7/10	2020/1/10	2020/7/10	2021/1/12	2021/7/12		
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	

※分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。



REFINITIV LIPPER
 FUND AWARDS
 2021 WINNER
 JAPAN

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2021
 債券型 インドルピー 評価期間5年
最優秀ファンド賞 受賞

※リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードについては、最終ページをご覧ください。

(注) 当資料では、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)」および「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)」をそれぞれ「毎月決算型」「年2回決算型」ということがあります。また総称して、あるいは個別に「当ファンド」ということがあります。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

マザーファンドの運用状況

資産別・通貨別組入状況

資産の種類	合計	(内訳)	
		ルピー建て	米ドル建て
国債・地方債	26.6%	26.6%	0.0%
社債(政府機関債含む)	62.1%	62.1%	0.0%
その他の債券	0.0%	0.0%	0.0%
小計	88.7%	88.7%	0.0%
現金等	11.3%	—	—
合計	100.0%	—	—

債券ポートフォリオの概要

平均クーポン	6.8%
平均直接利回り	6.3%
平均最終利回り	6.0%
インドルピー建て債券	6.0%
米ドル建て債券	0.0%
平均デュレーション	4.7年

業種別構成比率

国債・地方債	30.0%
電力・公益	15.7%
インフラ金融(農業関連)	9.7%
石油・ガス	7.9%
インフラ金融(電力)	6.5%
インフラ金融(道路・鉄道)	5.6%
素材・コモディティ	5.1%
不動産	4.9%
港湾・空港	4.5%
銀行	3.9%
道路・鉄道	3.6%
インフラ金融(総合)	2.2%
住宅金融	0.5%

格付別構成比率

AAA	0.0%
AA	0.0%
A	0.0%
BBB	67.2%
BB	5.1%
B	0.0%
CCC以下	0.0%
無格付	27.7%

通貨別組入配分(為替取引考慮後)

ルピー	90.4%
その他通貨	9.6%

組入銘柄数	44
-------	----

インフラ金融とは:

インフラ金融とは、金融機関がプロジェクト開発計画の調査・立案から参画して必要な資金を融資するプロジェクトファイナンスのうち、インフラ関連に融資することをいいます。インフラ金融会社はそれを専門に行う企業です。

※「資産別・通貨別組入状況」および「通貨別組入配分」の比率は、純資産総額を100%として計算しています。

※格付けは、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、イーストスプリング・インベストメンツが独自の基準で採用したものです。

※「通貨別組入配分」のその他通貨は、米ドルや日本円等を含みます。

※「格付別構成比率」および「業種別構成比率」は、組入債券評価額の合計を100%として計算しています。四捨五入の関係上、合計値が100%にならないことがあります。

※政府機関債、地方債は国債と同等の格付けとしています。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

マザーファンドの運用状況

組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	種別	格付け	利率	償還日	比率	銘柄の概要
1	インド国債	ルピー	国債	BBB-	7.570%	2033/6/17	9.9%	国債
2	パイプライン・インフラストラクチャー	ルピー	社債	-	8.951%	2024/3/22	7.9%	ガスなどのパイプライン輸送を手掛けるほか、ポンプステーションの運営にも従事する。
3	インド国債	ルピー	国債	BBB-	6.640%	2035/6/16	7.3%	国債
4	NHPC	ルピー	社債	BBB-	8.120%	2029/3/22	5.8%	国営の水力発電会社。国内外で水力発電や電源開発プロジェクトを計画・推進する。
5	インド国債	ルピー	国債	BBB-	4.620%	2033/9/22	5.3%	国債
6	全国農業農村開発銀行	ルピー	社債	BBB-	6.850%	2031/3/21	5.3%	インドの農業および農村部の発展を目的に、融資、農業関連サービスなどを幅広く提供する。
7	タタ・スチール	ルピー	社債	BB+	2.000%	2022/4/23	5.1%	タタ・グループの総合鉄鋼メーカー。インド国内の他、グループ会社を通じて東南アジアなどにおいて幅広く事業を展開する。
8	エンバシー・オフィス・パークス REIT	ルピー	社債	-	0.000%	2022/6/3	4.9%	不動産投資信託(REIT)。商業ビル、オフィスや産業用施設などを取得・運営する。
9	コースタル・グジャラート・パワー	ルピー	社債	-	9.700%	2023/8/25	4.5%	インドにおいて発電、送電および配電サービスを提供する。
10	シッカ・ポーツ・アンド・ターミナルズ	ルピー	社債	-	7.950%	2026/10/28	4.5%	原油・石油製品の港湾での取扱い、保管、処理業務を手掛け、国内の企業に石油関連サービスを提供する。

※比率は組入債券評価額の合計を100%として計算しています。

※種別の社債には政府機関債が含まれます。

※格付けは、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、イーストスプリング・インベストメンツが独自の基準で採用したものです。

※政府機関債、地方債は国債と同等の格付けとしています。

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※銘柄の概要は、組入銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、特定の銘柄の推奨や将来の値動きを示唆するものではありません。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

運用コメント

【投資環境】

9月の10年国債利回りは、ボラティリティの高い不安定な動きの中、前月末比横ばいで月を終えました。8月末に4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率が発表された後、一部外国銀行の購入により国債価格は上昇(利回りは低下)しました。13日発表の8月の消費者物価指数(CPI)上昇率が前年同月比+5.30%と前月から伸びが鈍化し、金融緩和継続期待が高まったことも支援材料となりました。政府は年度後半の国債発行計画を変更せず、今年度の発行予定額を維持するとしました。また、インド国債が国際的な債券指数に組み入れられるとの期待感も債券価格の下支え要因となりました。さらに、インド準備銀行(RBI、中央銀行)が29日実施の国債買入プログラムに10年国債を含める決定をしたことを受け、国債価格は上昇しました。しかし、米国債利回りと原油価格の上昇により国債価格のさらなる上昇は限定的でした。月末にかけては、利益確定売りが出たこともあり、債券価格は下落基調となりました。

為替市場では、米連邦準備制度理事会(FRB)によるテーパリング(量的緩和の縮小)が年内にも開始されるとの見方から米ドルが広範に買われたことで、インドルピーは対米ドルで下落し、対円では横ばいとなりました。

【投資行動】

当月は、債券価格の上昇が基準価額の主な上昇要因となりました。当月は、長期国債を売却し、変動債や短期国債を新規購入しました。また社債では、割高感の強まった残存期間の短い債券を売却したほか、スプレッド水準を考慮した入替売買を実施しました。デュレーションは前月から短期化しました。9月末時点の債券の組入比率は88.7%となりました。

【今後の見通し】

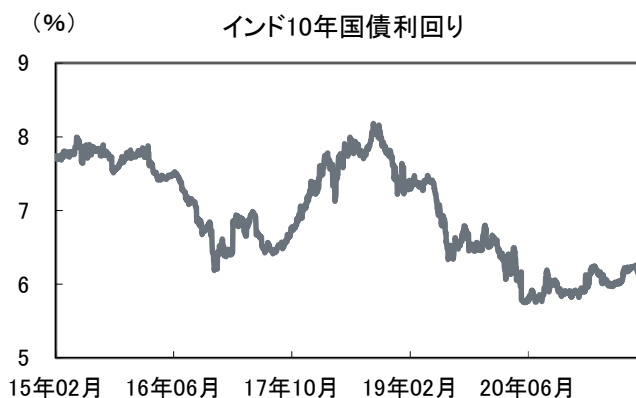
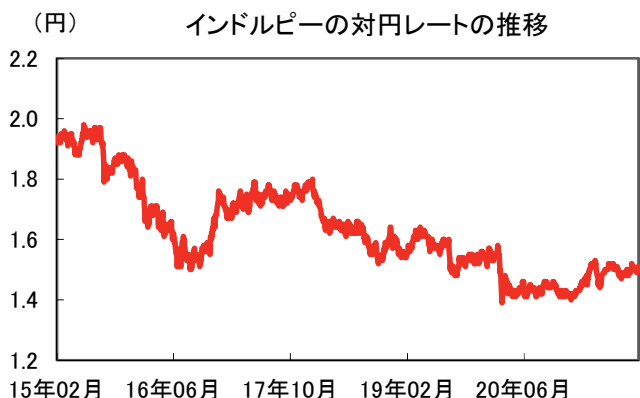
新型コロナウイルス感染者数の減少、ワクチン接種の進展、経済活動の再開に加え、コモディティ価格の上昇など金融政策の正常化に繋がる動きが加速しており、RBIによる段階的な金融緩和政策の縮小が予想されます。金融政策の正常化は、流動性供給の削減から始まり、政策金利設定における上・下限の幅の縮小へと向かうことが想定されます。実際に、金融政策委員会メンバー内では緩和的なスタンスに反対する意見も出ていることから、今後の政策決定は、成長重視から成長とインフレのバランスに焦点を当てたものになると考えられます。10月、11月に開催される大きな祭りのシーズンを控えて感染者数の増加が見込まれますが、RBIはインフレ率や世界の中央銀行のテーパリング開始を注視すると思われれます。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

※運用コメントは作成時点での投資環境や今後の見通しを示したものであり、将来の運用成果や市場動向を保証するものではありません。

また、将来の市場環境の変動等により、その内容が予告なく変更される場合があります。

※運用コメントは、マザーファンドの運用を担当するファンド・マネジャーのコメントをもとにイーストスプリング・インベストメンツが作成したものです。

ご参考



※為替レートの推移は、一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※インド10年国債利回り(インドルピー建て)の推移は、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。上記はあくまでご参考であり、インド国債の組入れをお約束するものではありません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社一覧 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お申込先

金融商品取引業者等	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エイチ・エス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第169号	○			
香川証券株式会社	○		四国財務局長(金商)第3号	○			
十六TT証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第188号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
とうほう証券株式会社	○		東北財務局長(金商)第36号	○			
東洋証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第121号	○			○
西日本シティTT証券株式会社	○		福岡財務支局長(金商)第75号	○			
西村証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第26号	○			
野村証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
浜銀TT証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第1977号	○			
播陽証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第29号	○			
フィデリティ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第152号	○	○		
ほくほくTT証券株式会社	○		北陸財務局長(金商)第24号	○			
北洋証券株式会社	○		北海道財務局長(金商)第1号	○			
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社香川銀行		○	四国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社熊本銀行		○	九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十八親和銀行		○	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社東邦銀行		○	東北財務局長(登金)第7号	○			
株式会社西日本シティ銀行		○	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
株式会社福岡銀行		○	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。

年2回決算型の販売会社は、次ページをご覧ください。

販売会社一覧 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込先

金融商品取引業者等	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エイチ・エス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三にいがた証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第169号	○			
香川証券株式会社	○		四国財務局長(金商)第3号	○			
十六TT証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第188号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東洋証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第121号	○			○
西日本シティTT証券株式会社	○		福岡財務支局長(金商)第75号	○			
野村證券株式会社	○		関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
浜銀TT証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第1977号	○			
播陽証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第29号	○			
フィデリティ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第152号	○	○		
ほくほくTT証券株式会社	○		北陸財務局長(金商)第24号	○			
北洋証券株式会社	○		北海道財務局長(金商)第1号	○			
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社熊本銀行		○	九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十八親和銀行		○	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社新生銀行		○	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社西日本シティ銀行		○	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
株式会社福岡銀行		○	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。

毎月決算型の販売会社は、前ページをご覧ください。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2021について

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)」は、「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2021」債券型 インドルピー(評価期間5年)部門で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2021 WINNER
JAPAN

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating(リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

※当該評価は2020年12月末時点で過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

照会先: イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

TEL.03-5224-3400(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページアドレス <https://www.eastspring.co.jp/>

ご留意事項

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。○ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。